

八潮市議会議員 あさだ和宏(44歳)無所属(刷新の会)



継続こそ・力なり!!
子育て世代の声を市政へ!!

未来の八潮・子どものために… 和宏のほっとかない!! NEWS vol.47〈6月議会報告〉

編集・発行

あさだ和宏を育てる会
会長 落合 利治
編集長 中井 欣也

〒340-0821 八潮市伊勢野306
FAX 048(996)4361

●発行日 平成24年7月●

討議資料

子供に
ツケを
まわさない!



プロフィール

1968年 3月28日
八潮市に生まれる(現在44歳)
市立大瀬小(八小)大原中(二中)を卒業
私立成立学園(商業科)を卒業
専修大学 法学部法律学科卒業
(2012年)
01年 9月市議選に立候補
(最年少候補(当時)33歳)
1229票12位当選
05年 9月
2度目の市議選に立候補(37歳)
1415票9位当選
09年 9月
3度目の市議選に立候補(41歳)
1733票3位当選
現在、3期目(刷新の会)

所属団体

地方政治改革ネット 会員
青年地方議員の会 会員

ホームページ

あさだ和宏

検索

暑中お見舞申し上げます。



皆様、こんにちは。関東地方でも梅雨が明け、連日厳しい暑さが続いていますがお変わりありませんか・・・。

私も、おかげ様で、連日元気に活動をしています。今年の夏も「節電」が大きくクローズアップされる夏となっています。過度に節電をしてしまい、逆に体調を崩してしまうケースも見受けられています。上手に体調に合わせて室温調整し、この夏も暑さに負けずに頑張りましょう。

2012年 八潮市の住みよさランキングは… 全国801市区中…総合105位に後退!!(2010年は総合60位)

上記は、毎年、東洋経済新報社が発行している「都市データパック2012年版」の「住みよさ」ランキングの数字です。2年前、本市の総合ランキングは60位でしたが、今回はベスト100位圏内からも後退し、大幅に順位が下降していることが理解できます。もちろん、この調査は民間企業が独自の視点で調査した結果なので、調査結果に疑問や不満を感じる方もいると思いますが、私は、民間から見た自治体の「ランク」「評価」は一定の説得力があると感じています。

さて、本市の順位が後退した要因は何か・・・?様々なことが考えられますが、私個人的には、様々な面で絶好の「チャンス」を逃していると感じています。

例えば、これだけ都市間・沿線間競争が激化している中、本市の行政体質は「前例主義・踏襲主義」が多く残っていると私は感じています。今の時代、様々なモノや情報が伝わるスピードは、日進月歩で変化しています。だからこそ、行政が施策等を実施する際でも、今まで1年掛かって検討していたものは3か月で検討、半年で実施をする必要があると私は考えます。

このことは、私を含め、他の議員も共通していることであり、常に「前例」に囚われることなく、「スピード感」を持ち、取り組む必要があります。

来年は、本市も「市長選挙・市議会議員選挙」の改選の年となります。私自身、市議会議員となり11年目(3期目・残り1年)を「将来の八潮市のために・市民のために」全力で活動してまいりたいと思いますので、ご支援よろしくお願い致します。

八潮市議会議員 あさだ和宏

～参考データ「住みよさランキング」の、根拠となる他の順位を参考までにご紹介します～

・安心度 385位 ・利便度 259位 ・快適度 35位 ・裕福度 97位 ・住居度 634位

※近隣市の総合ランキング順位

・三郷市 195位 ・草加市 479位 ・越谷市 226位 ・吉川市 124位

※つくばエクスプレス沿線自治体の、総合ランキング順位

・守谷市 5位 ・流山市 59位



一般質問

観光行政施策について

Q 今年も、中川やしおフラワーパークを会場に「花桃まつり」が開催され、市内外から多くの観光客が訪れました。

A 今後、本市の観光施策の中心である「花桃まつり」をさらに充実・発展させることが重要と考えますが、フラワーパーク周辺に「花桃」の木を増やすことについて、市の考えを伺います。

Q 河川法の規定により、現在のフラワーパーク内にこれ以上の植樹は難しい。しかし、現在、市が包括専用として管理しているフラワーパーク周辺の約9.7ヘクタール内への植樹は可能だと考えている。今後、八潮市観光協会のご意見を伺いながら、江戸川管理事務所と調整していきたい。

再質問

Q 市として、この場所をどのように整備、活用するかが重要であり、早めに議論を進めて、方向性を示すことが重要、このことについてどう考えているか。

A 今後、関係する団体や、市民の皆様からの要望等を考慮し、この場所をどのように整備していくのか検討していきたい。

和宏の考え・意見

「やしお花桃まつり」の年々、規模が拡大し、知名度も上がってきました。しかし、遠方から訪れた方などからは「花桃はこれだけの…」という声を聞きます。まだまだ発展途上の「花桃」を活用した本市の観光行政。これから、どの様に展開するのか楽しみです。要望として、議論をする際に、地域活性化成功への「3つのワード」を取り入れることをお願いしました。

※3つのワードとは「若者」「よそ者」「ばか者」

誤解が無いように説明すると、「ばか者」とは「大胆な発想で時には異端児扱いされるが、前例に囚われずに何事にも熱心に取り組む人のことです」。



産科の誘致について

Q 一昨年も一般質問で取り上げましたが、本市には「産科」が無い状態が続いています。産科を誘致することは容易ではありませんが、本市でも誘致に対して、具体的な誘導策を講じていく必要があると考えますが、市の考えを伺います。

A 本市同様、産科がない自治体等が実施している誘導策について、庁内でも十分理解をしている。今後、本市で開業を思案している医療関係機関等に対して、本市で可能な支援策を提示していきたい。

再質問

Q 以前、本市で産科を開業する意向がある医療機関と調整をしたが、残念ながら他の自治体で開業する結果となったが、その後、同様な話はあったか、また現在の状況は？

A 無いわけではないが、相手方の立場もあり、議会の答弁は控えさせてほしい。

Q 多田市長は、選挙公約の一つとして産科の誘致を掲げている中で、仮に本市での開業を考えている医療機関がある場合、前回のようない失敗したことを繰り返さないためにも、より具体的（金銭面での誘導策）を提示する考えは？

A 朝田議員の提案について私も十分理解しているが、果たして、市民の税金をどの程度、使うか考える必要がある。仮に、そのような場合になった時は、議員の皆さんへ相談したい。

和宏の考え・意見

この質問は一昨年に引き続き2度目の質問です。執行部の答弁を分析すると、どうやら現在、市内での産科を開業したいという意向がある医療機関との「調整中」かな？と理解しています。であるならば、前回の「失敗を繰り返すのではなく、相手側との話し合いの中で、魅力的な誘導策を提示することが重要だと私は考えます。一般的に「誘致」「交渉」というものは、お互いの駆け引きも多く、「切り札」をいっ出すかがポイントです。

市内に「産科」を誘致したい、増やしたい、という自治体は数多くあるのが実情です。

東京に隣接し、人口も約84,000人を突破した八潮市ですが、市内に「産科」がない状況は、都市間・沿線間競争に勝ち残っていく時に、大きな「マイナス」です!! 「決めるときには思い切った政治判断」が必要ではないでしょうか？

PS.もしかすると、今後、市内に「産科」が出来る日も近いかも…。

選挙施策について

Q 県内の自治体でも、選挙ポスターの公費負担の減額を実施した自治体があります。本市でも限度額を減額することについて伺います。

A 過去の選挙運動用ポスターの実績金額や現在作成した場合の金額を調査・分析し、公費負担の見直しをする必要があるかどうか、市選挙管理委員会に諮った上で検討していきたい。

再質問

Q 本市の公費負担の限度額の積算根拠となっている「倍率」は？

A 越谷市 2.0倍 草加市 1.2倍
吉川市 1.2倍 三郷市 1.0倍

Q 本市の場合、ポスター公費限度額は一枚当たりの作成単価2,556円×221枚（ポスター掲示板数148箇所）の1.5倍（5554,876円）となっていますが、前回実施された市議会議員選挙の際、請求金額が、一番低い金額は？

A 173,754円

和宏の考え・意見

この件については私自身も当事者の一人ですが、選挙をする度に、公費限度額と実際に掛かる費用との差がかなり乖離していると感じ質問をしました。前回の市議選に立候補し、満額請求をした人は7名、請求金額の平均は394,362円でした。私は380,000円。

今後、見直しに向けて検討したいとの答弁がありました。市選管理委員会の結論を出す際には、より実態の近い限度額に変更することを私は希望しています。

Q 吉川市では、選挙ポスター掲示板を、再利用・リサイクル出来るアルミ製の掲示板を使用しています。環境保護の観点から、本市でも導入する必要があると思いますが、市の考えを伺います。

A 今後も、現在使用している「再生紙」の選挙ポスター掲示板を使用していく。

Q 選挙公報を市のホームページ上に掲載することについて、市の考えを伺います。

A 平成25年度の市長選挙・市議会議員選挙から市のホームページに選挙公報を掲載する。

再質問

Q 選挙告示後、ホームページに速やかに掲載する必要があると思うが、告示日から何日後の掲載する予定か

A 告示日から2日後（火曜日）の夜には掲載したい。

和宏の考え・意見

この件については、矢澤議員からも過去に提案されていた事項であり、今回「や」と市のホームページに選挙公報が掲載されることになりました。これだけ、ネット社会が進んでいる現在、選挙運動にこの媒体を使わないことは、大きなマイナスです。

防災条例の制定について

Q 災害による被害を最小限にとどめるためには、市民のみなさんに防災に関する意識を高めていただくとともに、災害に強いまちづくり・ひとづくりのための具体的な予防対策を進めることが大切だと考えます。さて、市の防災対策のほか、市民や事業者のみなさんが、自分や家族、会社、そして自分たちのまちを守るために何をすべきかを定めた「防災条例」を制定する自治体は？

ちなみに・・

○6月議会の傍聴者数 115人
○3月議会の傍聴者数 115人
※平成23年(一年間)の傍聴者数 441人

9月議会の日程(案)

9月 3日 本会議(開会・議案上程委員会付託)
11日 本会議(総括質疑)
12日 総務文教常任委員会(9時)
13日 建設水道常任委員会(9時)
14日 福祉環境常任委員会(9時)
18日 一般質問(10時)
19日 一般質問(10時)
20日 一般質問(10時)
21日 本会議
(委員会報告・質疑・討論・採決)閉会。

※会期・日程(案)については、開会日において本会議での、議決(可決)後、正式な日程表となります。

同様です。

【委員会】

会議室の関係で傍聴できる人数は、10人までです。なお、傍聴の手続きは、本会議と同様です。

【本会議】

どなたでも傍聴することができます。

傍聴は、市議会の活動にふれることのできる身近な方法ですのでぜひ傍聴してください。本会議場の傍聴席は、記者席4席、一般席42席です。

市議会を傍聴(見学)しませんか?

答弁の通り、条例制定に向けて取り組んでいくとのこと(拍手!)
昨年3月の震災以降、防災に関する「観点・視点が見直されています。」「公助」はもちろん、「自助」「共助」という考え方が再認識されています。この点についての条例の中でそれぞれの役割が、分かりやすく明記されることを期待します。

和宏の考え・意見

AQ 制定はいつ頃を目指しているのか?
今年度、第4回定例議会(来年3月)に議案として上程する予定。

再質問

A 条例の必要性を強く感じている。今後、条例制定に向けて取り組んでいく。

◎朗報!本市の待機児童対策が一步、前進します!

本市の喫緊の課題であった、待機児童対策の解消のために、来年4月開所を目指して、八潮駅周辺に「2つ」の民間認可保育所(公設民営)の設置が決定しました。(拍手!)※県の補助制度を活用しています。

総定員180人、設置場所は、一ヶ所は、大瀬地内(TX沿い駐車場「C」付近)二ヶ所目は、古新田地内(埼玉回生病院近く)の予定です。詳しい情報は今年の12月頃に市の広報誌、ホームページに掲載予定です。

私の元にも、市民の方から何度も保育所の新設・増設の依頼が多くあり、私にとっても、大変嬉しいお知らせとなりました。今回、2つの保育所の設置により、「一時的」に待機児童は解消されると思います。

◎八潮駅前・南口公園の整備方針が発表されました。

平成26年4月、開園を予定している、八潮駅南口公園(約1.4ha)の整備方針について担当課から説明がありました。完成予想図では、イベント広場やお花見広場、森の広場など、多彩な内容となっています。また、公園の一部は、人工的に作った「丘」を作る計画となっています。

開園が楽しみ・・・と思う反面、その事業費には「ビックリ!!」

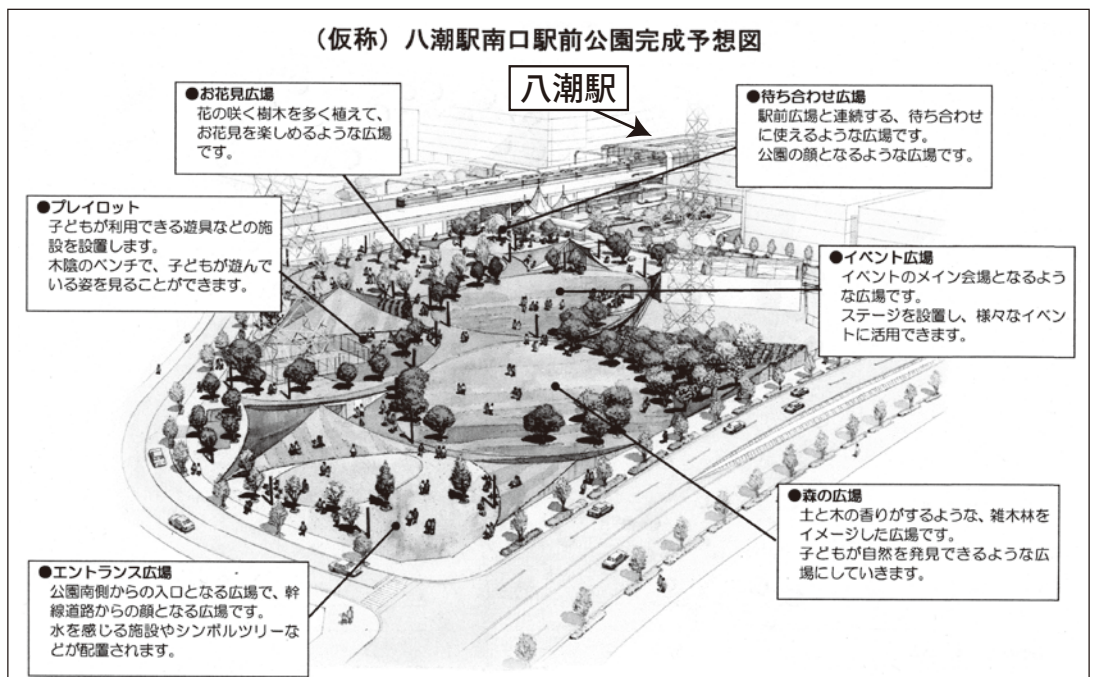
公園整備(土木)工事に約3億1,500万円。その他、トイレや管理事務所等の建築工事費に約1億数千万円(予定)とのこと。となると・・・総額約5億円!?(ビックリ)※金額はあくまで推定。

市担当者のお話では、公園の一部には「散水施設・ミスト装置?」の設置が予定されているとのこと。

このような設備、利用する側には好評ですが、設置後の維持費・修理費がかなり掛かると聞いています。

公園を造る工事費・その後の維持費はすべて「公費」(皆様の税金)で賄われます。

「財政難」と言われている状況を考慮し、必要最低限の公園施設で良いのではと私は考えますが、皆さんはどう感じますか?



和宏の独り言… ～継続こそ・かなり～

皆さん、今回も「和宏のほっとかないNEWS」をお読みいただき有難うございます。内容はいかがだったでしょうか。内容に関しての疑問、質問など、ございましたら、遠慮なくお寄せいただきたいと思います。

さて、私自身、昨年の後半より、続けていることがあります。それは、「東日本大震災被災地への復興支援」です。

支援といっても、週末を利用して復興ボランティアに参加したり、復興支援と銘打った「商品」の購入などを続けています。もしかしたら些細な事かもしれませんが、このような小さなことでも「継続」をすることが重要だと私は思います。

先日も、私自身が参加している「絆ジャパン」という復興支援チームで、福島県小名浜地区へ復興作業に行ったとき、現地の方から「毎週、土曜日、皆さんが埼玉からこの地へ来て、活動してくれている姿を見て、私たちも、どれだけ勇気をもらったのか計り知れない、また皆さんの後ろ姿を見て、何度も諦めかけた自分の故郷の再生に、一歩ずつ進むことができました。何とって感謝すれば良いのか」とお言葉をいただきました。私がこの団体で活動した回数は数回でしたが、改めて「継続する力」の大切さを感じました。

ちなみに、この話に登場する「絆ジャパン」の活動、当初、一人の男性が声を上げ、その後、賛同者が増え、昨年の6月から一回も休むことなく、毎週土曜日に埼玉県内からボランティアバスを運行しています。先日、私も参加した7月7日は、記念すべき「50回目」の運行でした。(今まで約2,800名が参加)

私の「座右の銘」…「継続こそ・かなり」

今後もこの言葉を忘れることなく、議員活動、復興支援活動、様々な面で積極的に活動してまいります。



あさだ和宏を育てる会

～日帰り親睦バス旅行の報告～

6月10日毎年恒例の親睦旅行が開催されました。

近年、議員や幹事？の行いが良く、朝から梅雨の晴れ間に恵まれバス3台(135名)で八潮を出発しました。

首都高、東関道を走り、最初の目的地、潮来あやめ祭り会場を訪れました。道中、東日本大震災の影響が残る地区を通り災害の甚大さを改めて感じました。あやめは7分咲きでしたが、ゆっくり園内を散策しました。その後銚子まで走り、バスのトランク一杯に海産物の買い物をして、太平洋が一望できるホテルで昼食を取りました。

昼食後、昭和のレトロ感が残る銚子電鉄に乗車し、のどかな田園風景を車窓から眺め、仲ノ町駅で電車を降りヤマサ醤油の工場見学を行いました。帰路の車中では、クイズ大会、カラオケを行い、参加者皆様の親睦を図り、夕刻に事故もなく八潮に到着しました。

休日のお忙しいなか、親睦旅行に参加いただき感謝申し上げます。朝田議員自らバス3台を順番に回り、ご挨拶させていただきました。皆様から貴重なご意見、そして来年への激励のお言葉をたくさん賜り、決意を新たにしました。来年も皆様がお越しいただけるような企画を行って参りますので、よろしくお願い致します。

旅行責任者 小櫃

